

個人質問

蔵 眞 議員

●入札制度の改善について

建設工事の入札は、落札率が90%と非常に高く、談合の疑惑を払拭できません。談合問題の認識と今後の改善策は。

A 市長 談合がないと断定はできない状況であり、一層の改善が必要です。この10月から建設工事および設計・測量等の業務委託は、指名競争入札から条件付一般競争入札に変更します。本年度後期から、一定金額以上のものは電子入札を導入することになっていきます。

Q 業者を市内に限定すると業者が少なく、競争性が確保できないのでは。分割発注で地元業者の入札参加の機会を増やすべきでは。

A 市長 競争性を高めるためには、たとえば地域を郡内に広げることが必要です。ところが、議会からは市内業者の振興を図れという声が出ています。競争性を保つ必要性がある場合と地域振興を図る場合との使い分けをします。分割発注は、現在でも最大限行っています。

随意契約で行える130万円以下の修理・修繕は、小規模工事登録制度を導入して、市内の零細業者にも公平に仕事が行くようにし、他方、大規模事業については、品質も競わせる総合評価方式を導入すべきでは。

Q 財政課長 現在も小規模工事は登録制度に近い状態で随意契約をしています。入札方式の移行作業で事務量がかなり増大しており、導入までしばらく時間をいただきたい。

総合評価方式については、県の支援もはじまり、たとえば3億円以上の工事には導入するなど前向きに検討していきます。

Q 小・中学校の統廃合について

合併協定では、小・中学校の通学区域は当面現行の通りとなっています。しかし、児童・生徒数の急激な減少や学校施設の

耐震改修との関係から、小・中学校の統廃合問題が検討課題として浮上しています。市長と教育委員会の基本的な考え方は。

A 市長 健全財政維持の面で、学校の施設整備は費用がかさみます。将来の財政予測も含め、幅広い意見で結論を出していきます。

教育長 小・中学校とも現時点での計画は全くありませんが、再編、統廃合は検討・推進せざるを得ない時期に入ったと思われま

その場合でも、教育は子どものも未来に関わること、財政問題だけにこだわらず、あくまでも教育環境の整備・充実という姿勢は決して失わないつもりです。

Q 情報提供と住民参加の幅広い議論を。

A 市長 幅広く市民に情報を提供して、ともに考えることが必要だと考えています。

一般質問の内容は、各議員より提出された原稿をそのまま掲載しました。

千葉県南12市議会議長会 議員研修会



平成19年11月7日(水)、千葉県南12市議会議長会議員研修会が、かずさアカデミアホールで開催され、山武市議会から17名の議員が参加しました。

当日は、政策研究大学院大学教授の飯尾潤氏を講師に、「衆参ねじれ時代の政治展望」という演題で講演が行われました。講演の中で、今の日本は古い派閥や官僚中心の政策づくりから本来の議員内閣へ変わる岐路にあると話されました。

- (県南12市：館山・木更津・茂原・東金・勝浦・鴨川・君津・富津・袖ヶ浦・いすみ・南房総・山武)

議会を傍聴してみてもいいですか

簡単な手続きで傍聴できます。

12月定例会は4日から開催されます。日程は、ホームページに掲載しています。詳しくは議会事務局まで ☎0475(80)1231

議会だより 編集委員会

- 委員長 井野 敬一
- 副委員長 本山 英子
- 委員 小川 善郎
- 委員 小川 一馬
- 委員 川原 春夫
- 委員 八角 公二
- 委員 越川 哲
- 委員 小野崎正喜